

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 29 年度 第 2 回 理事会議事録

日時：平成 29 年 5 月 17 日（水）19 時 00 分～21 時 05 分

場所：都臨技事務所

議長：千葉

書記：三木

出席：千葉、原田、宮崎、杉岡、小山、三橋、松村、中村、浄土、鈴木、星、山方、米山、宿谷、星野、相馬、宮下、櫻井、三木、
安部監事、遠藤監事、野口役員選出委員、真野役員選出委員 計 23 名

欠席：寺島、立花監事

1. 議事録確認

平成 29 年度第 1 回理事会議事録

平成 29 年度第 1 回執行理事会議事録

2. 理事行動報告

4 月 5 日	(水)	業務執行理事会	千葉、原田、宮崎、小山、松村、三橋、中村、浄土、鈴木
4 月 17 日	(月)	STI 予防委員会	三橋、浄土
4 月 21 日	(金)	データ標準化委員会	寺島
4 月 24 日	(月)	学術部会	小山、杉岡、星、山方
4 月 25 日	(金)	教育施設連絡者委員会	杉岡、松村、
4 月 26 日	(水)	フォーラム委員会	三橋、中村
4 月 27 日	(木)	南支部幹事会	星野、宮下、星、三木
4 月 28 日	(金)	東支部幹事会	宿谷、原田、鈴木
4 月 28 日	(金)	北支部幹事会	相馬
5 月 2 日	(火)	編集委員会	小山、山方、星
5 月 8 日	(月)	表彰選考委員会	中村
5 月 9 日	(火)	地域保健共催部会	三橋、米山、原田
5 月 9 日	(火)	会計部会	浄土、宮下、三木
5 月 13 日	(土)	看護フェスタ	三橋、松村、米山、寺島、星野、櫻井

3. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・期末監査報告（会場費が高騰している為、支出に占める割合の増加について等）。
- ・各研究班からの研修会報告。
- ・日臨技助成金について、各研究班あわせて合計 20 回申請することとなった。
- ・来年度支部研修会について、4 月～7 月の 4 ヶ月で開催予定である。
- ・本年度学術部会は 10 回開催予定（4・5・6・7・9・10・11・12・1・2 月）。
- ・講習会の HP 掲載について、出来るだけ早い時期から掲載できるかを検討することとなった。
- ・免疫血清研究班研修会、共催許可申請あり。

(2) データ標準化委員会

- ・委員の交代あり。
- ・平成 29 年度都臨技精度管理調査日程については、次回委員会までに継続審議となった。

参加費や調査項目についても継続審議とした。

・都臨技精度管理調査試料で使用しているプール血清について、引き続き使用可能か調査することとなった。

(3) 生涯教育制度実行委員会

生涯教育対象行事登録者数 (4月)

(No.)	(行 事 名)	(開催日)	(生涯教育点)	(登録者数)
1、	(輸血)西支部学術研修会	4月11日	20点	48名
2、	(臨床化学)南支部学術研修会	4月18日	20点	72名
3、	(血液)血液研修会(これで解決凝固検査)	4月20日	20点	117名
4、	(生理)生理研修会(初心者からベテランまで必見心電図判読力UP)	4月20日	20点	187名
5、	(微生物)微生物研修会(感染症から微生物検査へのアプローチ)	4月21日	20点	118名
6、	(生理)生理研修会(腹部超音波検査カテゴリー分類について)	4月24日	20点	78名
7、	(免疫血清)東支部学術研修会	4月27日	20点	30名
8、	(一般)北支部学術研修会	4月28日	20点	39名

自己申告 会場研修

(No.)	(行 事 名)	(開催日)	(生涯教育点)	(登録者数)
1、	微生物学英語勉強会	4月11日	10点	3名
2、	第1回国臨協関信支部主催研修会(医療安全管理について)	4月22日	10点	161名

(4) 編集委員会

・平成29年6月号について、施設紹介は平成29年中(9月号、12月号)、掲載することとなった。

施設紹介の在り方について、引き続き審議とする。

・転載許可申請書(本文転載用):班長及び編集委員に送付、必要時に使用する。

・編集担当変更あり。

2) 学会運営部

・特になし

3) 支部

(1) 支部業務連絡委員会

・役員選出委員推薦書(3名)

・選挙管理委員推薦書(2名)

・北支部幹事推薦書(1名)

4) 地域保健共催事業部

・西支部健康まつり予定

稲城ふれあい保健・健康まつり:7月23日 骨密度測定

小平市民まつり:10月15日 血管年齢測定

・西支部幹事交代及び追加あり

・平成29年第1回学生対象講演会

日時:平成29年7月1日(土)14時から

会場:東京山手メディカルセンター

テーマ:就職後のステップアップ~広がる臨床検査技師の可能性~

各学校からの申し込み期限を6月17日(土)とする

昨年度の支部研修会テキストを学生に配布する(200部)。

・全国「検査と健康展」

開催日：平成 29 年 11 月 25 日（土）

会場は昨年度の東京スカイツリータウンやデパートの催事場、イベントホールなどを検討する。

・看護フェスタ 2017 報告

新宿西口広場イベントコーナーにおいて、実務委員 20 名により血糖測定（7 台）、検査相談を実施した。

総来場者数 1300 名のうち、血糖測定 460 名、検査相談 65 名であった。

(1) STI 予防委員会

・今年度の S T I 予防教室、講師は未定

日大豊山女子高校→7 月未定

安田学園→7 月 11 日

新渡戸文化短期大学→7 月 26 日

東京電子専門学校→9 月 7 日

東京工科大学→7 月 19 日

・ S T I 専任講師について

今年度の支部研修会テキストに S T I 予防委員会のページを作成し、講師の募集を行っている。

現在、1 名から連絡があり交渉中。

(2) フォーラム委員会

・西支部担当幹事の交代有り。

・第 20 回都臨技フォーラムについて

開催日時：2017 年 11 月 11 日（土）13：00～

テーマ：都民の健康寿命を延ばそう！をコンセプトに、今回は「糖尿病と動脈硬化」に焦点を当てる。

会場：東京山手メディカルセンター

講師：東大病院糖尿病チームの医師、管理栄養士に確認する。

5) 会計部

(1) 会費収入状況【平成 29 年 4 月 30 日現在】

	H29 年度実績	前年同月実績
正会員会費納入者数	5,358 名	5,103 名
学生会員入金納入者	2 名	2 名
賛助会員会費納入社数	62 社	66 社

(2) H29 年 4 月 主な事業活動収支状況

◎収入

・正会員会費収入	¥ 37,751,000	(28 年度退会返金 35 名 ¥245,000 含む)
・学生会員会費収入	¥ 1,000	(2 名)
・賛助会員会費収入	¥ 1,860,000	(62 件)

◎支出

・臨検啓発事業（委託費）	¥ 541,728	(会員管理システム年間保守料 H&T) (HP 管理システム利用料 パレットプランニング)
・倫理高揚資質費（委託費）	¥ 72,576	(学術 HP 管理システム利用料 パレットプランニング)
・機関誌発行事業（委託費）	¥ 357,630	(支部研修会テキスト発送費)

(3) 熊本震災募金総額 ¥60,860

6) 庶務部

会員数【平成 29 年 5 月 1 日現在】

	平成 29 年度
会員数	5,589 名
都臨技会費免除会員	50 名
賛助会員	62 社

・賛助会員は入金があった社のみを掲載

・総会書類は 5/19 発送予定。

7) 事務局

・事務局報告

・学生会員リスト 2 名

(1) 表彰選考委員会

・厚生労働大臣表彰について

5 名が受賞。表彰式は平成 29 年 6 月 23 日(金)、日臨技の記念式典にて執り行われる予定である。

・緒方富雄賞候補者について

毎年 6 月中旬以降に推薦募集がかかる為、推薦対象者を決定した。

・今年度各賞候補者推薦予定について

今年度の小島三郎記念技術賞、福見秀雄賞等各賞の推薦候補者について早めに検討する事とし、関連部署等へも依頼する予定。

・規定等の見直しについて

表彰規定、表彰選考委員会規定の見直し内容について検討、訂正及び追加部分を記載し委員会で確認後、理事会へ提出することとする。

・永年幹事表彰について検討を始めた。

・都臨技名誉会員、功労者、永年会員について

対象者リスト作成を開始することとする。表彰については例年通り平成 30 年 2 月開催の第 13 回都臨技学会を予定とする。

8) 日臨技報告

・季刊誌「ピペット」について、配布協力施設への登録が東京都は少ない。協力可能か施設に紹介して頂くこととする。

・認定認知症領域検査技師精度について、認定制度は日臨技に移管された。認定認知症の研修会開催を検討することとする。

・バーコードリーダー付 PC 貸し出しについて、日本医学検査学会（千葉）へ 5 台貸し出し可能か確認することとする。

4. 審議事項

(1) 新入会員について

4 月 19 日～5 月 11 日 入会者 90 名について承認された。

(2) 新入会学生会員 2 名について、承認された。

(3) 免疫血清研究班共催許可申請について、承認された。

(4) 役員選出委員（3 名）、選挙管理委員（2 名）、北支部幹事（1 名）について、承認された。

(5) 病理技術研究会学会、後援名義使用について承認された。

(6) 日本神経病理学会総会学術研究会の HP 掲載依頼について、承認された。

5. その他

(1) 教育施設連絡者会議

・卒業した生徒の削除実施について、承諾施設へ学生会員リストを渡し、削除してもらう。年 1 回 4～5 月に実施し 6 月末集計後、教育施設へフィードバックする。

・学生ボランティア活動について、活動できる内容と事故時対応出来る様連絡先の把握が必要である。学校保険に加入しているため、事故時対応は都臨技側から学校へ連絡が必要である。

- ・ 学生向け講演について、現在実施しているのは6月「就職活動について」、2月「臨地実習について」の年2回である。就職について、多くの職種（病院勤務以外の就職先等）について行って欲しい。
 - ・ 厚生労働大臣指定講習会である検体採取講習会について、留年して単位取得した場合はどうなるのか、3年制と4年制の卒業年度が異なるのはどうなるのか、という質問があった。
- (2) 都臨技オリエンテーション終了の報告あり。参加は127名、会員67名、申請中と未加入の方が60名であった。

平成29年5月17日（水）

公益社団法人 東京都臨床検査技師会

議長 千葉 正志
(千葉)

千葉正志



監事
(安部)

安部信行



監事
(遠藤)

遠藤盛人

